

第43回応用物理学会スクール (2008年秋季)

<教育・公益事業委員会企画>

省エネルギー・低環境負荷技術の最前線と将来展望

現在、大量生産・大量消費が多く、廃棄物を招き、限りある資源の枯渇が大きな社会問題となっています。また、二酸化炭素(CO₂)濃度の増加は温室効果による地球温暖化を引き起こすといわれています。このような問題に答えるために、地球環境にやさしい材料やエネルギーが求められています。本セミナーでは、省エネルギー技術及び低環境負荷技術の開発の現状と今後の展望について議論します。

期日 : 2008年9月2日(火) 秋季講演会初日

会場 : ZS会場 (25号館4F-2545)

中部大学春日井キャンパス

(愛知県春日井市松本町1200)

参加定員 : 150名 (申込順に受け付けます)

受講料 : 無料

テキスト : 当日会場にて頒布いたします。

(1冊1000円、ご希望の方のみ)

申込方法 : 下記の(1)、(2)のいずれかの方法でお申し込み

ください。

(1) インターネットでの申込

応用物理学会ホームページ <http://www.jsap.or.jp/>

へアクセスしてください。

(2) FAX, はがきでの申込

1 スクールのタイトル名

2 参加者氏名

3 テキスト希望の有無

4 所属連絡先(所属, 住所, TEL, メール)

5 会員番号(非会員の場合は非会員と明記)

をご記入の上, 下記送り先へお送りください。

申込先・問合せ先 :

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-12-3 井門九段北ビル5F

社団法人 応用物理学会 事務局スクール係

TEL : 03(3238)1042 FAX : 03(3221)6245

E-mail : schoolb@jsap.or.jp

申込締切 : 2008年8月25日(月)

定員に余裕がある場合には, 当日(9月2日)にスクール会場前の受付にて申し込みを受け付けいたします。なお, テキストが不足することもありますので, できるだけ事前にお申し込みください。

プログラム

- | | |
|------------------|--|
| (1) 9:30- 9:35 | ごあいさつ |
| (2) 9:35-10:20 | 今後のエネルギー環境問題と対応技術
茅陽一(地球環境産業技術研究機構) |
| (3) 10:20-11:05 | 太陽電池の開発の現状と課題
富田孝司(シャープ株式会社) |
| (4) 11:05-11:50 | 燃料電池開発の現状と課題
内田裕之(山梨大学) |
| 11:50-12:50 | 昼食 |
| (5) 12:50-13:35 | 環境対応車としてのハイブリット車と
半導体技術への期待
川橋憲(トヨタ自動車株式会社) |
| (6) 13:35-14:20 | 鉄道における省エネ・低環境負荷技術
(架線ハイブリッド電車を例として)
小笠正道(鉄道総合技術研究所) |
| (7) 14:20-15:05 | 環境負荷低減からみた都市エネルギー
システムのあり方
ー最適化モデル分析からの知見ー
辻毅一郎(大阪大学) |
| 15:05-15:20 | 休憩 |
| (8) 15:20-16:05 | バイオプラスチックの開発
前田裕平(東レ株式会社) |
| (9) 16:05-16:50 | レアメタルの代替材料の開発と
元素戦略
原田幸明(物質・材料研究機構) |
| (10) 16:50-17:00 | エネルギー・環境技術の今後の展開
岸田俊二(NEC 特許技術情報センター) |